

### インフルエンザウイルス感染症 その予防策について

※今シーズン（2024-2025年）は、  
2024年9月2日（36週）から2025年8月31日（35週）までです。

厚生労働省、国立感染症研究所、日本感染症学会、日本医師会などの情報を参考に作成

#### 1》インフルエンザにかからないために 予防の基本は、シーズン前のワクチン接種です。

令和6年度のワクチン供給量は、約5,400万回分のワクチン(0.5mL換算、経鼻ワクチンは0.2mL)の予定です。昨年(2023年)は、非流行期も注意報レベルで推移して、9月から感染者が増加しました。これは新型コロナの影響で2年半以上インフルエンザウイルスへの曝露がなかったために、インフルエンザが季節外に流行した可能性も否定できません。「インフルエンザワクチン接種」は重要になってきます。また常日頃からの予防対策も大切です。今シーズンから従来の不活化インフルエンザHAワクチン(注射)のほかに、小児（2歳～19歳未満）の方に鼻腔内に噴霧する経鼻弱毒生インフルエンザワクチンが使用できるようになりました。注意点もありますので、詳しくは「かかりつけ医」にご相談ください。

#### ◎予防対策



- ・手洗いとうがいの励行をしましょう
- ・バランスのよい食事、十分な休養で疲労を避けましょう
- ・部屋の湿度を50～60%程度に保ちましょう
- ・人混みなどへの外出を控えましょう
- ・外出時にはマスクを着用しましょう（エバーサルマスク）

#### インフルエンザワクチンの供給量の年次推移

○ 2024/25シーズン（令和6年度）のワクチンの供給量は、約2,734万本となる見込み。



## 2》令和6年度（2024/25）のインフルエンザHAワクチン製造株（4価） 流行等を考慮してWHOが推奨して、厚生労働省で決定されます。

- A型株（2023/24の製造株から変更あり：\*）
  - A/ビクトリア/4897/2022(IVR-238) (H1N1)
  - A/カリフォルニア/122/2022(SAN-022)\* (H3N2)
- B型株（2023/24の製造株と同一株）
  - B/プーケット/3073/2013 (山形系統)
  - B/オーストリア/1359417/2021 (BVR-26) (ビクトリア系統)

## 3》咳エチケットとは

2003年の、SARS以降に提唱された予防策です。咳やくしゃみの際は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけましょう。（1メートル以上離れることも大事です）鼻汁や痰などを含んだティッシュは、すぐに蓋付きのごみ箱に捨てます。咳をしている人には、マスク着用を勧めてください。咳がでるときは、周りの方へうつさないためにマスクを着用してください。マスクは、説明書を読んで、正しく着用しましょう。3密を避けることも大切です。



インフルエンザの週ごとの定点当たり報告数（2014 -24年）



<https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/idwr/IDWR2024/idwr2024-36.pdf>

**ご不明な点がございましたら、各店舗薬剤師にお尋ねください**

**西長岡センター薬局**  
☎0258-89-5111  
長岡市千秋2-2746-5

**西長岡調剤薬局**  
☎0258-25-8680  
長岡市千秋2-297-12

**古正寺薬局**  
☎0258-22-4976  
長岡市古正寺3-2

**西長岡調剤薬局千秋店**  
☎0258-29-4976  
長岡市千秋2-278-130